

2022年9月2日

報道機関各位

多摩川住宅ホ号棟マンション建替組合
住友不動産株式会社
株式会社長谷工コーポレーション

全体総戸数約 3,900 戸、総面積約 50ha を誇る「多摩川住宅地区」地区計画エリア内で先陣を切り着工
「多摩川住宅 ホ号棟」マンション建替事業 着工のお知らせ
築 54 年 総戸数 380 戸の団地を 905 戸のマンションに建替え
～(令和 3 年度)マンションストック長寿命化等モデル事業 採択事業～

多摩川住宅ホ号棟マンション建替組合(理事長:眞野 源吾)、住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区/代表取締役社長:仁島 浩順)、株式会社長谷工コーポレーション(本社:東京都港区/代表取締役社長:池上 一夫)は、東京都調布市染地三丁目にて推進しております多摩川住宅ホ号棟マンション建替事業について、2022年8月5日に着工しましたことを、お知らせいたします。

「多摩川住宅」は、1968年竣工の東京都住宅供給公社が手掛けた初の大規模団地で、高度経済成長期における東京の人口増による住宅不足を解消するため、東京都調布市と狛江市にまたがる約50haの広大な田園地帯に建設されました。

規模もさることながら、生活利便施設や公共施設を同敷地内に整備するなど団地が「街」を形成するような斬新で画期的な計画であり、完成当時よりモデル団地として多くの見学者を迎えることとなりました。完成から半世紀を超え、再生の時を迎えた「多摩川住宅」の中で「ホ号棟」は、今般、先陣を切って建替事業の着工をいたしました。なお、本事業は国土交通省創設の「マンション長寿命化等モデル事業」(令和3年度)の採択事業として評価されています。



「多摩川住宅全景」空撮(2021年8月撮影)SS Co., Ltd.

■「多摩川住宅ホ号棟」建替事業の経緯について

2015年11月より事業協力者として住友不動産と長谷エコーポレーションが選定され、コンサルタントのシティコンサルタンツと共に行政協議や全権利者との合意形成活動を行ってまいりました。

2020年8月に団地一括建替え決議が成立し、2021年4月に調布市の認可を受け、「多摩川住宅ホ号棟マンション建替組合」が設立、2021年11月24日に権利変換計画が認可されました。

尚、住友不動産は参加組合員として、長谷エコーポレーションは参加組合員、設計・施工者として事業参画しております。

■建替え後の新マンションについて



完成予想図(CG パース)

所在地	東京都調布市染地三丁目1-811(地番)他
交通	京王線「調布」駅からバス12・13分、徒歩4～7分
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上12階建
完成時期	I 工区:2024年11月下旬予定、II 工区:未定
敷地面積	37,638.90m ²
総戸数	905戸(非分譲住戸245戸含む)
間取り	1K～4LDK
専有面積	30.68～87.01m ²
事業主	多摩川住宅ホ号棟マンション建替組合
参加組合員	住友不動産株式会社 株式会社長谷エコーポレーション
設計・施工	株式会社長谷エコーポレーション
分譲住戸販売公式HP	https://www.sumitomo-rd-mansion.jp/shuto/tamagawa/

■「多摩川住宅ホ号棟」の建替事業に関して

多摩川住宅地区 地区計画

「ホ号棟」の「住宅再生A地区」では容積率の上限が引き上げられたことにより、380戸(11棟)から905戸(7棟)のマンションへの建替えやコミュニティー街路・公園・広場の整備、歩道状の空地を外周部に設置することが可能となりました。

「ホ号棟」の安心・安全な街づくり

- ◇長期優良住宅認定のマンションで、長期に渡り快適な住環境を提供
- ◇CASBEE建築(新築)、ZEHの認証申請予定マンションであり、環境に配慮した建築
- ◇バリアフリー化への取組み(EVの設置、街路・歩道の整備等)
- ◇多摩川からの開放性高い広場空間ネットワークの形成と防災性及び住環境を向上
- ◇緑溢れる良好な環境の継承

建替え後は多世代が住み続けられ、防災に強く、環境に優しい街づくりとなるよう、事業を進めてまいります。



いずれも完成予想図(CG パース)



※掲載の地図は一部道路・施設等を抜粋して表記しています。